

【研究課題】 国立大学法人 大阪大学医学部附属病院 臨床研究倫理審査委員会

医療情報の利活用による医療安全向上へのとりくみ

～移植医療における免疫抑制剤の長期服用安全性について～

承認番号 15246

1. 対象

2000年1月から2014年12月まで15年間に大阪大学医学部附属病院にて臓器移植（心臓、肺、膵臓、肝臓、腎臓）を受け、シクロスポリン（CyA）、タクロリムス（Tac）、エベロリムス（Eve）を服用している患者

2. 研究機関

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

3. 目的

臓器移植を受けた患者は長期的に免疫抑制剤を服用しなければならないため、その安全性は極めて重要である。本研究は、移植後に免疫抑制剤を服用している患者について臨床検査データや処方データを長期間にわたって収集し、移植成績や臨床検査値への免疫抑制剤の長期的な影響について調査することを目的とする。

4. 方法

以下の項目の後方視的調査

- ・年齢、性別、処方データ、疾患名、日常診療に基づき電子診療録に記載される検査データ

5. 意義

医療情報である臨床検査結果と投薬処方データより移植医療において避けることが出来ない免疫抑制剤の服用と栄養状態の長期的評価を行い、移植医療の安全への貢献を目指す。

6. 個人情報の取り扱い

研究対象者のデータや検体から氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行います。

7. 問合せ先

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号